

## 競 技 注 意 事 項

### ＝共通注意事項＝

- (1) 本記録会は、2014年度日本陸上競技連盟規則および本記録会申し合わせ事項にて運営する。
- (2) 本記録会は申し込み選手以外の出場は認めない。
- (3) トラック競技はすべてタイムレースとする。
- (4) フィールド競技（走高跳・棒高跳は除く）の試技は3回とし、ベスト8は実施しない。
- (5) 選手招集について
  - ① 競技者の招集完了時間は、競技開始時間のトラック競技は15分前、フィールド競技は30分前とする。
    - ・ 事前に棄権することがわかっている場合は、招集所に申し出ること。
    - ・ 最終コールのみ行う。その際、本人がナンバーカードを係員に見せ、点呼を受ける。本人が他の種目で競技中の場合限り、代理人の点呼を認める。
    - ・ 招集所で点呼を受けなかった者、招集完了時間に遅れた者は、その競技に出場できない。
  - ② 招集所は競技場北側ゲート付近に設置する。（100mスタート付近）
  - ③ 招集所から各競技のスタート地点への移動は係員の誘導に従う。
- (6) ナンバーカードは規定のものを胸と背に縫い付ける。ただし走高跳および棒高跳の選手は胸または背のどちらか一方だけで良い。

また、トラック競技においては、腰ナンバーカード（＝レーンナンバー）を着用すること。
- (7) トラック競技における組・走路順およびフィールド競技の試技順はプログラム記載順とする。
- (8) 競技用具については、競技場備え付けの用具を使用する。
- (9) 走高跳および棒高跳のバーの上げ方は、参加選手のベスト記録を考慮し決定する。
- (10) 競技進行および安全確保のため、競技場への出入りは出場選手ならびに競技役員（補助員）以外は認めない。
- (11) 練習場所はバックストレッチの第8レーン外側で、指示された場所以外で練習はしないこと。
- (12) プログラムの訂正については、規定の訂正用紙に記入し、総務へ提出すること。

### ＝中学生注意事項＝

- (1) トラック競技は9mm以下、フィールド競技は12mm以下のオールウェザー用スパイクピンを使用すること。
- (2) リレー競技について
  - ① リレー競技に出場するチームは、規定のオーダー用紙を1部記入し、競技開始1時間前までに総務へ提出すること。（オーダー用紙は招集所に用意してあります。）
  - ② リレー競技の各走者の、ダッシュマーク・テープは各学校で用意する。なお、マークテープの撤去については、競技終了後に各学校が行うこと。

### ＝小学生注意事項＝

- (1) 素足での競技は認めない。
- (2) トラック・フィールド競技とも7mm以下のオールウェザー用スパイクピンを使用すること。
- (3) クラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。
- (4) 走高跳は「背面跳び」「バリーロール」は禁止。「はさみ跳び」「正面跳び」とし足裏から着地。
- (5) 80mハードルについて  
スタートから第1ハードルまで13mとしインターバルは7mとする。台数は9台で最終ハードルからフィニッシュラインまでは11mとする。高さは全国大会用の70cmとする。

その他については、その都度総務より指示する。